

12-15right\_12-15left.JPG 2018/12/20

12-15right

八蔵来り融金の儀、頼聞る諾し貸遣す

八月

朔日未 雲午下雨一過

常司より差越せし利金の内廿五円分は□□□方八蔵に託す

二日申 雨午前止漸晴

八蔵より、か満す(カマス師)三十□尾を贈らる、常奴方より茄せ□□等少許(すこしばかり)届越す

三日酉 晴雨数変

村内駆疫のためとて□舞出る

12-15left

四日戌 晴雨数変昨の如し

無記事

五日亥 晴雨、猶昨の如くにて雨稍(やや)軽

無記事

六日子 雨午前止乍晴午下又雨一過乍晴

常司方より手製豆ふからを贈らる、村内□□義蔵等のため融金の儀、常司より頼聞る

七日丑 晴午前霞雨一過乍晴

昨の頼に応じ常司名前□□て金方貸遣す

八日寅 晴漸に陰夕前雨

無記事

九日卯 晴

\*□司方より□肉一皿を贈らる、□崎良次□の者来り、義□よりの届物、汚衣袴、雁(鳶)

異体字(書□並貞(貞太郎)への書状も□□

\*0:人名(常司?)、親族の者?)

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読はできません。